

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	雨水施設維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公共下水道（雨水）施設利用者	意図	・公共下水道（雨水施設）の適切な機能を維持する ・調整池排水施設の適切な保持・管理を行い、治水安全度を確保する。
事業内容	草刈、水路浚渫等清掃、動態観測、小破修繕等施設の維持管理業務委託を実施し、良好な住環境を維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に河川課より私設を引き継ぎ、調整池の維持管理を行っている。施設の維持管理委託業務に関する基本協定書を河川課と締結（以降、年度協定）し、当該事業を業務委託をしている。 近年は、ゲリラ豪雨が多発していることから、調整池の稼働が増えている。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	調整池草刈業務委託料		3,780,000	5,994,000	円	↑↑↑	
②	雨水管路等草刈・清掃委託		5,337,350	3,607,394	円	↑↑↑	
③	汚泥処分業務委託		2,213,244	1,060,128	円	↑↑↑	
④	下水道施設維持管理工事		2,673,000	2,033,640	円	↑↑↑	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 今年度より、各指標の名称（委託）内容を改善し、1本化できるものを統一して委託契約を行った。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			767,004	14,335,562			
事業費(b)(円)			14,004	13,649,062			
うち一般財源			14,004	13,649,062			
職員給与費(c)(円)			753,000	686,500			
人役・職員(人)			0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた	
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である	
総合評価		II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
		コストの削減					A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	調整池の各管理業務において、調整池を複数で業務委託し、事業簡素化を行う。	③取組の課題	現在の契約内容（維持管理の業務範囲）について、改めて河川課と意見交換を交わす必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	契約内容を改善化し、調整池と都市下水路、雨水幹線開水路の草刈を1本化した。雨水幹線等清掃業務と汚泥処分業務を1本化した。	④今後の改善計画	公共下水道（雨水）施設の管理体制・状況の整理を行う。